

Books

1. **T. Okazaki**
“Preparation and Properties of Carbon Nanopeapods”
In: K. Tanaka and S. Iijima, editors: *Carbon Nanotubes and Graphene*, Oxford: Elsevier; 2014, p. 225-252.
2. **T. Okazaki**, S. Iijima and M. Yudasaka
“Molecular Encapsulations into Interior Space of Carbon Nanotubes and Nanohorns”
in *Chemistry of Nanocarbons*, in Chap.15
T. Akasaka, F. Wudl and S. Nagase Eds. (Wiley) pp. 385-403, 2010.
3. **T. Okazaki** and H. Shinohara
“Nano-Peapods Encapsulating Fullerenes”
in *Applied Physics of Nanotubes: Fundamentals of Theory, Optics and Transport Devices*, Chap. 5
S. V. Rotkin and S. Subramoney Eds. (Springer) pp.133-150, 2005.
4. **T. Okazaki**, K. Suenaga, Y. Lian, Z. Gu and H. Shinohara
“The electronic and geometrical structures of Sm endohedral metallofullerenes”
Vacuum Science & Technology, Vol. 3, pages 147-158 (2001).

著書 (邦文)

1. 「薄膜作製応用ハンドブック」
第10章 カーボンナノストラクチャー
第6節 可溶化と生体・医薬への応用
岡崎俊也・篠原久典
エヌ・ティー・エス (2003).
2. 「ナノテクノロジーハンドブック」
I編 創る
2章 ナノ構造の作製とその特性
2・1 ゼロ次元ナノ構造
2・1・1 フラーレン
岡崎俊也・篠原久典
オーム社 (2003).

3. 「ナノカーボン材料開発の新局面ー加速する本格実用化」
第5章 ピーポッド
岡崎俊也
シーエムシー (2003).
4. 「超分子科学ーナノ材料創製に向けて」
第41章 カーボンナノチューブおよびフラーレン内包カーボンナノチューブの創製と機能
篠原久典・**岡崎俊也**
化学同人 (2004).
5. 「プロフェッショナル英和辞典スピードテラ」
執筆 (物理化学担当)
小学館 (2004).
6. 化学フロンティア^⑮「ナノカーボン」
第18章 ピーポッド: 合成, 評価とデバイス応用
岡崎俊也
化学同人 (2005).
7. 「カーボンナノチューブの機能・複合化の最新技術」
第2章 カーボンナノチューブの内空間の利用
1. ピーポッド
岡崎俊也
シーエムシー (2006).
8. 「ナノカーボンハンドブック (遠藤守信・飯島澄男監修)」
1編・カーボンナノチューブ、3章2節3項 金属内包フラーレンを内包した単層CNT (ピーポッド) の構造特性と電子物性
岡崎俊也
(株) エヌ・ティー・エス(2007).
9. 「カーボンナノチューブ・グラフェンハンドブック」
10.4 有機分子内包CNT
岡崎俊也
コロナ社 (2011).

10. 「マイクロ・ナノ熱工学の進展」

第3編 ナノ材料

第1章 カーボンナノチューブ

第2節 遠赤外分光法によるカーボンナノチューブ (CNT) 長さ計測とそれを用いた CNT 紡糸特性
評価

田島奈穂子、岡崎俊也

(株) エヌ・ティー・エス(2021).